INAX

保証書付

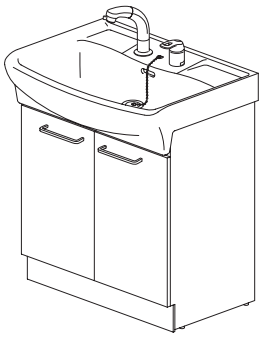
洗面化粧台

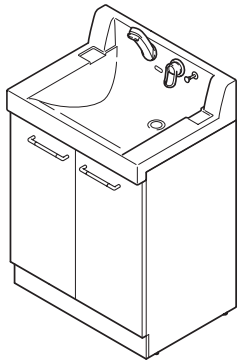
D7・D8 K1 シリーズ

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
＊転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。





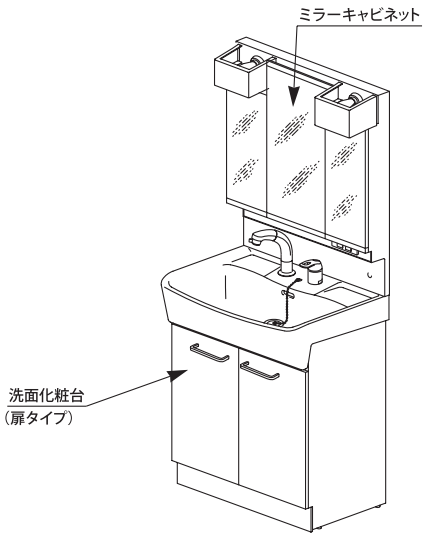
もくじ

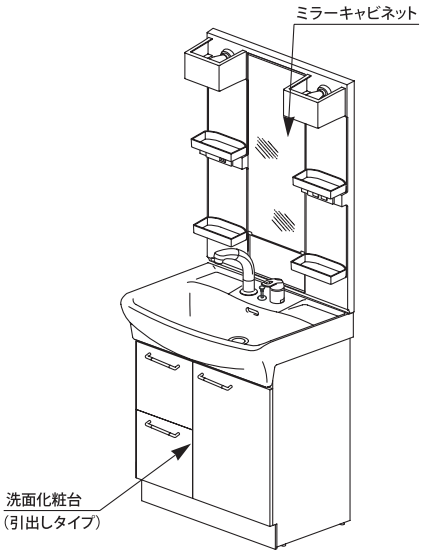
各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・3
使用時のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・9
ご使用方法
●お湯を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・11
●排水栓を開閉する・・・・・・・・・・・・13
●キャビネットを使う・・・・・・・・・・・13
●お掃除方法・・・・・・・・・・・・・・・・・15
●日頃のお掃除・・・・・・・・・・・・・・・15
●週1回程度のお掃除・・・・・・・・・17
●水受けトレイ・水受けタンク・・・18
長くお使いいただくために
●シャワーや吐水口からの
　水量が少なくなったと感じたら・・20
●排水が遅いと感じたら・・・・・・・23
●扉の調節方法・・・・・・・・・・・・・・25
●プッシュラッチの調節・・・・・・・・29
●陶器洗面器がヒビ割れしたら・・31
冬季凍結の恐れがある場合・・・・・32
故障かなと思ったら・・・・・・・・・・35
アフターサービスについて・・・・・・39
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
品番を調べる・・・・・・・・・・・・・・・・42
廃棄について・・・・・・・・・・・・・・・・42
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

各部のなまえ

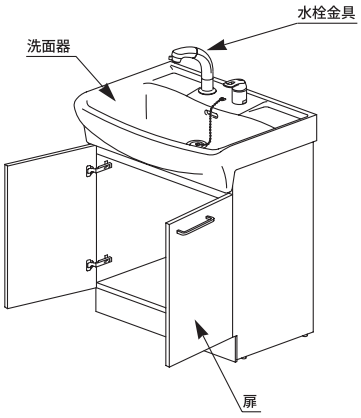
・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

D7・D8シリーズ

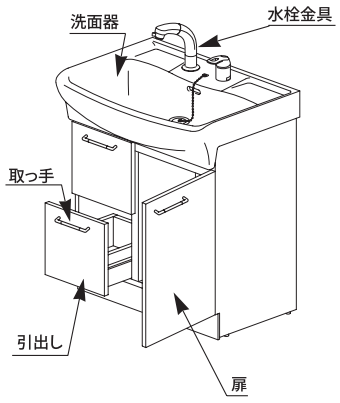




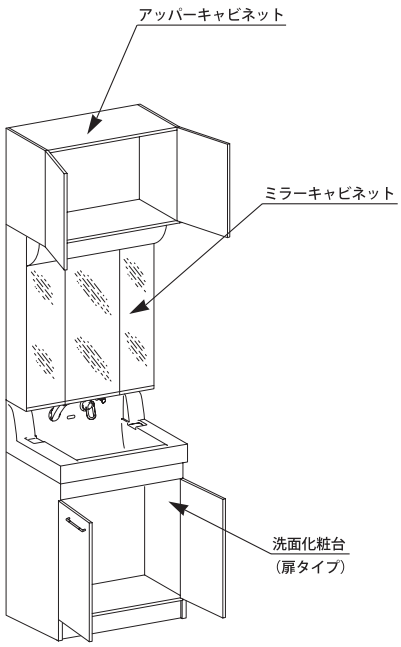
●扉タイプ



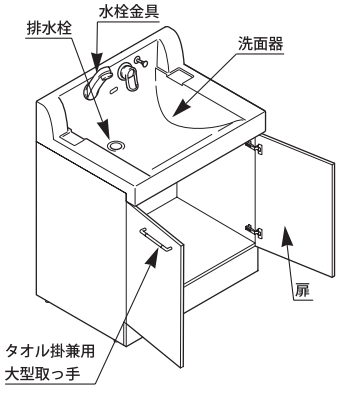
●引出タイプ



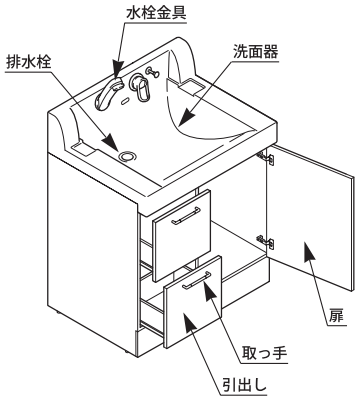
K1シリーズ



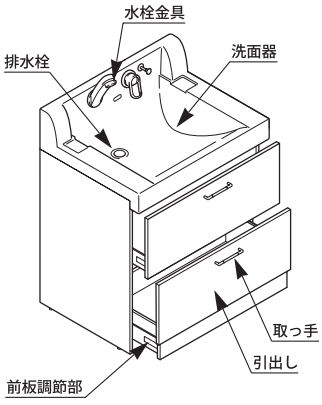
●扉タイプ



●引出タイプ

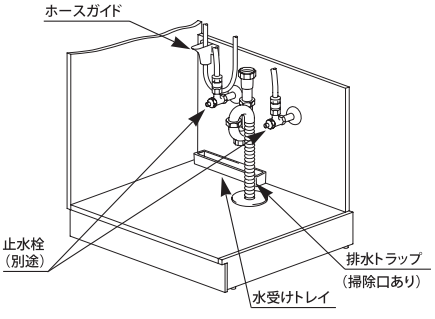


●フルスライドタイプ

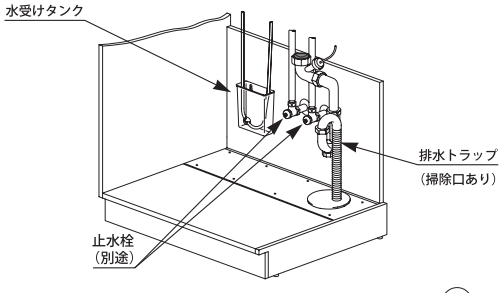


給水位置

●壁給水仕様（D7・D8）シリーズ



●壁給水仕様（K1）シリーズ



安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告 …… この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 …… この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

…… この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

…… この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

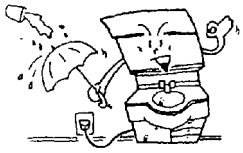
…… この絵表示は触っていけない「禁止」の内容です。

…… この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

…… この絵表示は電源プラグをコンセントから抜いていただく「強制」の内容です。

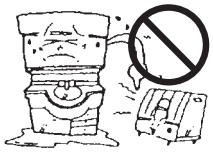
⚠ 警告

スイッチ、コンセント、電源プラグ、照明器具部分に水をかけないでください。また、ぬれた手でさわらないでください。
※漏電、感電の恐れがあります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。
※水栓、配水管より漏水する恐れがあります。

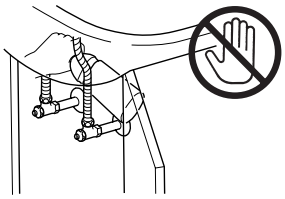
ストーブやヒーター等熱を発生するものを近くに置いて使わないでください。
※火災や変色・変形の恐れがあります。



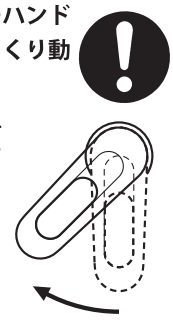
⚠ 注意

シャワーを使用する前に必ず手で適温であることを確かめてください。
※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。

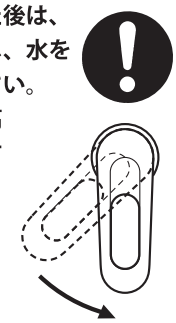
お湯を使用しているとき、また使用直後はキャビネット内の給湯側の金属部分に直接肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。



シングルレバー水栓のレバーハンドルを左に動かすときは、ゆっくり動かしてください。
※急に左に動かすと湯温が急上昇することがあり、ヤケドをする恐れがあります。

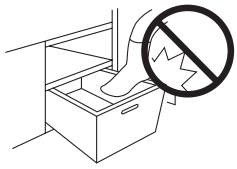


高温のお湯をお使いになった後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次にお使いになるときに高温のお湯が出てヤケドをする恐れがあります。

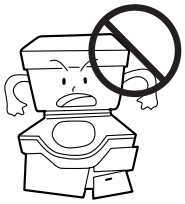


⚠ 注意

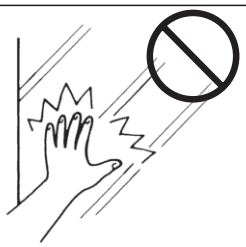
洗面器やカウンターの上に乗らないでください。また、キャビネット等（扉、引出し、棚、取っ手）につかまったり、もたれたり、乗ったりしないでください。
※破損やケガの恐れがあります。



キャビネット類、棚、扉がガタついたまま、あるいは取付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。
※物品類の落下、部材の外れによりケガをする恐れがあります。
（対処方法については「故障かな？と思ったら（35ページ）」をご覧ください。）

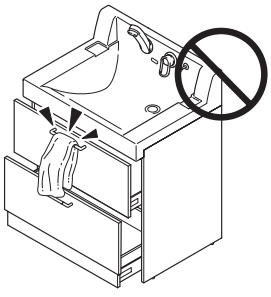


鏡やアルミ枠扉に手をついたり、もたれたり、たたいたりしないでください。
※鏡や樹脂板が割れてケガをする恐れがあります。



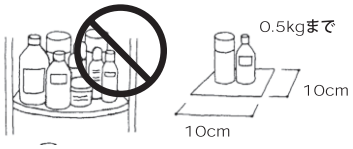
商品が破損したまま使用しないでください。すぐにお取替えや修理を依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でのケガの恐れがあります。
※キズやヒビが入った状態で使用すると破損につながりケガをする恐れがあります。

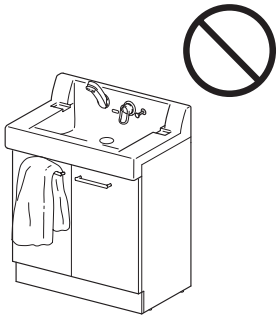
取っ手にはタオルを掛けないでください。（D7 シリーズを除く）
※取っ手が破損する恐れがあります。
※引出しにタオルがはさまります。
※思わぬケガをする恐れがあります。



⚠ 注意

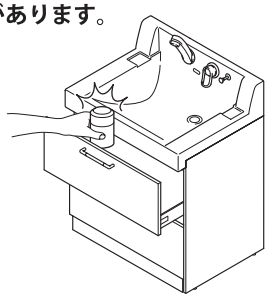
キャビネット類の棚や引出しに品物を過剰にのせないでください。
※破損、落下によるケガの恐れがあります。
※棚の許容積載質量は１０cm×１０cm（１００cm²）あたり０.５kg以下です。



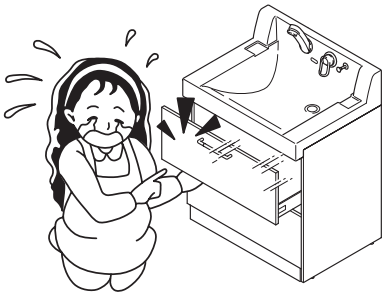


許容つり下げ重さ
0.5kgまで

フルスライドタイプキャビネットで、収納されている物品類を出し入れする際は、洗面器に当たらないようにしてください。
※洗面器にキズがついたり、 破損によってケガをする恐れがあります。

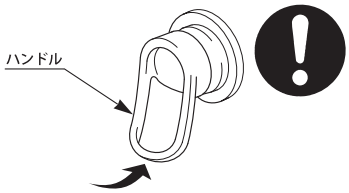


キャビネットの引出しを収める際には、勢いよく収めないでください。
※反動で引出しが飛びだし、ケガをする恐れがあります。

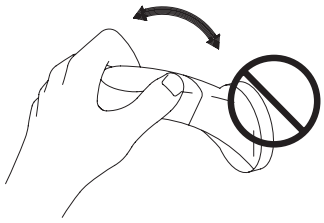


⚠ 注意

ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



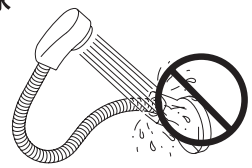
吐水部には無理な力を加えないでください。吐水部は１５°以上回転しません。
※破損や漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。



吐水口の先に、ホース等をつないで使用しないでください。
※破損や漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

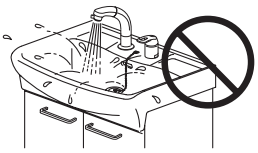
シャワーホースに物をのせたり、引っ掛けたりしないでください。
※破損や漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

吐水部の引出口に直接水をかけないでください。
※多量の水がキャビネット内に浸入し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

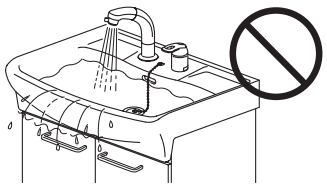


断水時は水栓のハンドルを止水の位置にしてください。
※水栓のハンドルが吐水位置のままで断水が終了すると水があふれ、漏水で家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。

水はねが多い場合は流量を調節して使用してください。（調節方法は22ページをご覧ください。）吐出する際は、水栓のハンドルを急に操作しないでください。
※キャビネットや衣類、家財等をぬらす財産損害の恐れがあります。



水ためは整流吐水で行なってください。
※シャワーで水ためを行うと水面が波立ち、あふれる恐れがあります。



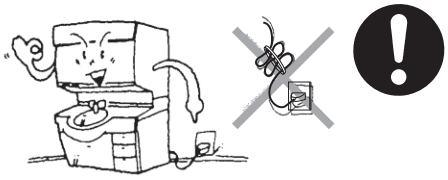
凍結が予想される場合は、水栓から少量の水を出したままにしてください。
※凍結破損による漏水し、家財等をぬらす財産損害発生の恐れがあります。
（水抜栓がある場合）
凍結が予想される場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作をしてください。
※詳細については「冬期凍結の恐れがある場合（32ページ）」をご覧ください。

⚠ 警告

次のものは使用なしないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の用材や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※変色や変形したり、排水パイプに穴があいて、漏水の恐れがあります。

キャビネットに水をかけないでください。水がかかった場合はすぐにふき取ってください。
※木が水を含み、傷む恐れがあります。

電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。
※発熱して火災になる恐れがあります。



使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

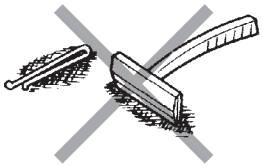
お願い

洗面器に急に熱湯を注がず、常温の水をためてから注ぐようにしてください。
※洗面器が破損する恐れがあります。

重いものや硬いものを落とさないでください。
※キズ、ヒビ割れの原因になります。

直射日光が当たる場合は必ずカーテン等でさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の恐れがあります。

ヘアピン、カミソリの刃等を放置しないでください。
※サビが付着して取れなくなる場合があります。

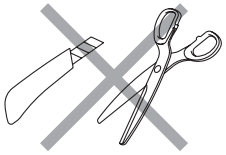


火のついたもの（タバコ、マッチ等）を置いたり近づけたりしないでください。
※コゲ跡がつく恐れがあります。

木製キャビネットはぬれたまま放置しないでください。
※木が水を含み、傷む恐れがあります。
※樹脂板が水を含み、変形する恐れがあります。

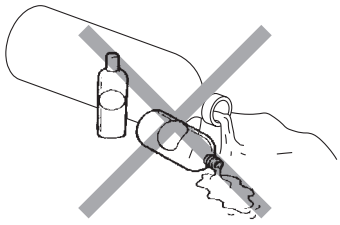
鏡面仕上げの扉はお手入れの際に強くこすらないでください。
※ひっかきキズ、すりキズが付く恐れがあります。

洗面器内・カウンター上では刃物や先端が鋭利な物は使用しないでください。
※洗面器・カウンターにキズが付く恐れがあります。

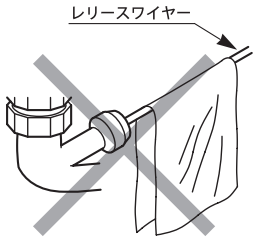


お願い

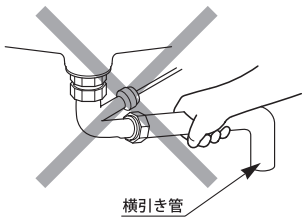
次のものを洗面器内に流したり、カウンター・キャビネットにこぼしたりしないでください。これらのものが付いた場合はすばやくふきとってください。
・化粧品、除光液、化粧落とし（クレンジング）
・毛染剤、毛髪の脱色剤、ホームパーマ剤
・染色剤
・芳香剤
※変色や変形の恐れがあります。（除光液・毛染剤・芳香剤等が付きますと、跡が残ることがあります。）



レリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしないでください。また、収納物が接触しないようにしてください。
※レリースの破損、排水栓の開閉不良の原因になります。

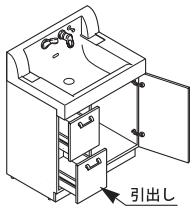


横引き管に物を掛けたり、引っ張ったりしないでください。また、配管に収納物が接触しないようにしてください。
※排水器具との接続部がゆるみ、漏水する恐れがあります。

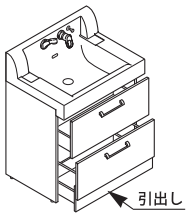


引出しにものを入れすぎない。
※引出しが出し入れしにくくなったり、レールが故障する原因となります。

許容積載量
引出しタイプ：1段あたり4kg以下
その他：引出し底面100cm²あたり0.5kg以下



引出しタイプ
4kgまで



その他
引出し100cm²あたり0.5kgまで

ご使用方法

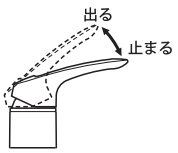
お湯を使う

シングルレバー洗髪シャワー水栓の場合(D７・D８シリーズ)

詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルは左右どの位置でも下げると止水します。



温度を調節する

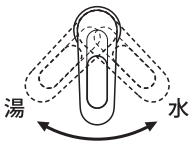
レバーハンドルを回します。

吐出温度を上げる

左に回す。

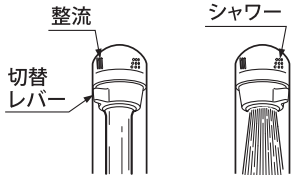
吐出温度を下げる

右に回す。



泡沫吐水、シャワーを切り替える

泡沫吐水・シャワー切替えレバーを回します。
「|||」に合せると泡沫吐水、「⁄||\」に合わせるとシャワーになります。



吐水口の高さを変える

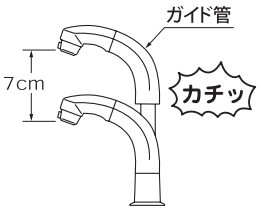
ガイド管上部を握って、上または下に動かします。

上げる

カチッと音がするまで引き上げます。
（約7cm上がります）

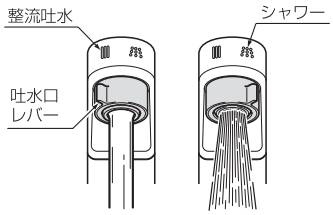
下げる

完全に下まで降ろします。



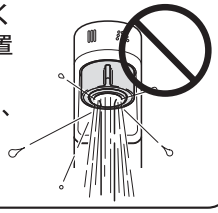
整流吐水・シャワーを切り替える(K1シリーズの場合)

整流吐水・シャワー切替レバーを切り替えます。
「|||」（左側）にレバーを合わせると整流吐水に、
「⁞⁞⁞」（右側）にレバーを合わせるとシャワーになります。



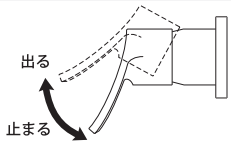
⚠注意

レバーは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に、しっかりと止まる位置まで切り替えてください。
※中間位置で止めると水が飛びはね、衣服が濡れる可能性があります。

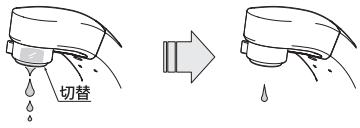


湯水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
レバーハンドルを下げると左右どの位置にあっても止水します。



レバーハンドルを閉じて水を止めた後に少しの間水が垂れますが、故障ではありません。
※構造上、切替の内部に溜まった少量の水が排出されます。

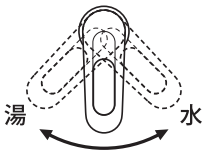


温度を調節する

レバーハンドルを回します。

吐出温度を上げる　左に回す。

吐出温度を下げる　右に回す。



吐水部を引き出す

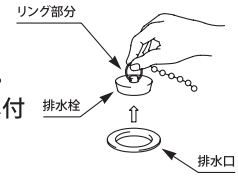
吐水部をつかみ、台座から引き出します。
使い終ったら、必ずもとにもどしてください。

排水栓を開閉する

D７・D８シリーズ

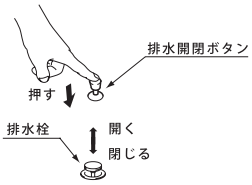
■ゴム栓の場合 (D7シリーズ)

排水栓に付いているリング部分を持って開閉します。
洗面器に水をためる場合は、排水栓を排水口に押し付けてください。
※鎖を持って引っ張ると、鎖が切れる恐れがあります。



■プッシュワンウェイ式排水栓の場合 (D8シリーズ)

開閉ボタンを押すごとに、排水栓が開閉します。



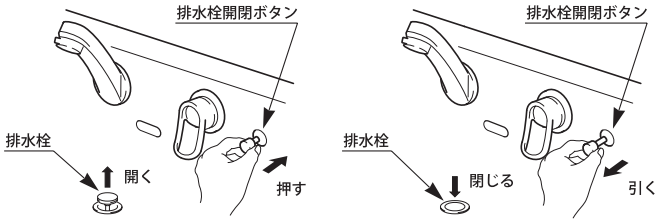
K1シリーズ

排水栓を開く

排水栓開閉ボタンを押します。

排水栓を閉じる

排水栓開閉ボタンを引きます。



キャビネットを使う

引出タイプキャビネットの引出しを取り外す・取り付ける

① 取り外す

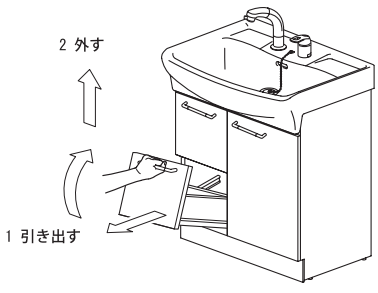
1 引出しを最後まで引き出します。
2 取っ手を持ち上げたまま、引出しを持ち上げて外します。

② 取り付ける

取外し方の逆の手順で取り付けます。

⚠ 注意

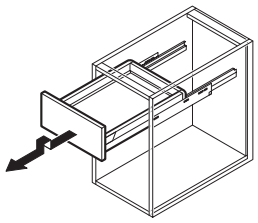
●引出しを勢いよく引き出さないでください。
※引出しが落下し、ケガをする恐れがあります。
●重いものを入れないでください。
※破損する恐れがあります。
※引出し1個あたりの許容積載質量は、4kgです。
●ぬれたものを置かないでください。
※サビる恐れがあります。
※木が水を含み、傷む恐れがあります。



フルスライドタイプの引出しを取り外す・取り付ける

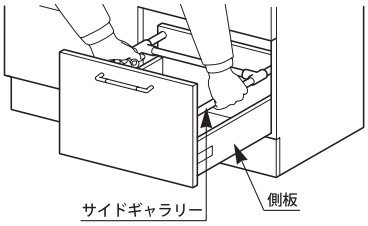
① 取り外す

引出しを止まるところまで引き出し、一度上に持ち上げ（コンという音がしてロックが外れます）、さらに手前へ引出します。



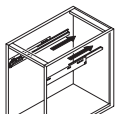
⚠ 注意

取り外す際は、引出し側板または底面を持ってください。
※サイドギャラリー付の場合、パイプを持つとパイプが引出しから外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

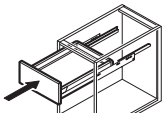


② 取り付ける

①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。



②引出しを受けレールに載せ、奥まで押し込みます。
その際、カチャカチッと音がしてロックされます。



⚠ 注意

引出しを取り付けた後は、数回開閉させ、ガタつきや異音がしないかなど、正確に取り付けられていることを確認してください。
※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。

おそうじ方法

日頃のおそうじ

D7・D8シリーズ

キャビネット本体

固くしぼったぬれぶきんでヨゴレをふきとります。
鏡面仕上げの扉は細かいひっかきキズやすりキズが目立つ場合があるので、特にヨゴレがひどい部分は柔らかい布をぬらしてたたくようにして、ヨゴレを吸い取るようにしてください。

ワンポイント

頑固なヨゴレをとるには
食器用中性洗剤を100倍程度にうすめた液を湿らせた布でふきます。ふいた後は固くしぼったぬれぶきんで洗剤をふきとります。

洗面器

スポンジか柔らかい布に食器用中性洗剤（100倍程度にうすめた物）を含ませ、ヨゴレをふいてください。つぎに、水洗いまたは水ぶきをしてください。

ワンポイント

頑固なヨゴレをとるには
・乾いた布に練り歯磨きまたはクリームクレンザーをつけてこすります。
・それでも取れない場合は目の細かい耐水ペーパー（#1500）に水を付けてこすります。
（強くこすり続けると表面の釉薬が削りとられますので、ご注意ください。）

もらいサビを取るには
※もらいサビとは水道水に混じった鉄サビや、ヘアピン・カミソリ等に発生したサビが付着したものです。
・スポンジや歯ブラシにクリームクレンザーまたは練り歯磨きを付けてこすります。
・それでも取れない場合はもらいサビに衣類用還元系漂白剤を塗り、暫くしたらこすります。

抗菌洗面器（HYPER KILAMIC）について
※D8シリーズ
●HYPER KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
●HYPER KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全てなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。

K1シリーズ

キャビネット本体・カウンター天板・鏡

固くしぼったぬれぶきんでヨゴレをふきとります。
鏡面仕上げの扉は細かいひっかきキズやすりキズが目立つ場合があるので、特にヨゴレがひどい部分は柔らかい布をぬらしてたたくようにして、ヨゴレを吸い取るようにしてください。
鏡と鏡受けの間のヨゴレは、綿棒や歯ブラシ等の先が細くて柔らかいものでかきだしてください。
（使用時に水滴が付いたら、乾いた布ですぐにふきとることをお勧めします。）

こんなことはしないで!!

ぬれたままで放置しないでください。
※木が水を含み痛む恐れがあります。
※アルミ枠扉は、樹脂板が水を含み変形する恐れがあります。
鏡面仕上げの扉は強くこすらないでください。
冷水、熱湯等を鏡にかけないでください。また、鏡を水ぶきする際、「くもり止め」ボタンを押して電源を切り、鏡面が十分に冷えてから行ってください。
※鏡が破損する恐れがあります。
※鏡がシケる（周囲が変色する）恐れがあります。

ワンポイント

頑固なヨゴレをとるには
柔らかい布に１００倍程度薄めた食器用中性洗剤を含ませ、ヨゴレをふきます。ふいた後は固くしぼったぬれぶきんで洗剤をふきとります。
カウンターとミラーキャビネット等のすき間には、水アカやヨゴレがたまりやすいので、柔らかい毛の歯ブラシ等でおそうじしてください。

洗面器

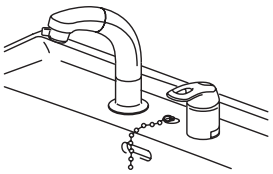
日常のお手入れ…
スポンジか柔らかい布に食器用中性洗剤（１００倍程度薄めた物）を含ませヨゴレをふいてください。サイドキャップも同様にふいてください。
落ちにくい汚れは…
ナイロンタワシ等で磨いた後、研磨剤の入っていないつやだしワックスを柔らかい布につけて磨くと光沢が得られます。
※無孔質の素材ですので内部まではヨゴレはしみ込みません。簡単なお手入れでヨゴレは取り除けます。

●次のものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤が付きますと跡が残ることがあります。）

週1回程度のおそうじ

水栓金具

柔らかい布に100倍程度にうすめた食器用中性洗剤を含ませて、ヨゴレをふきます。
ふいた後は固くしぼったぬれぶきんで洗剤をふきとります。



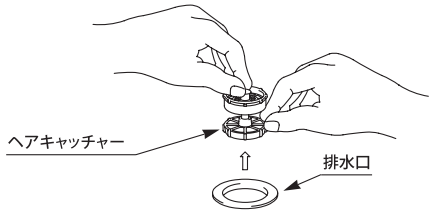
こんなことはしないで!!

ナイロンタワシ、ブラシ等は使用しないでください。
※水栓の表面を傷つける恐れがあります。

排水口（ヘアキャッチャー）

D7・D8シリーズ

ヘアキャッチャーを上方に引き抜きます。
ヘアキャッチャーについているゴミを
取り除き、元通りはめ込みます。

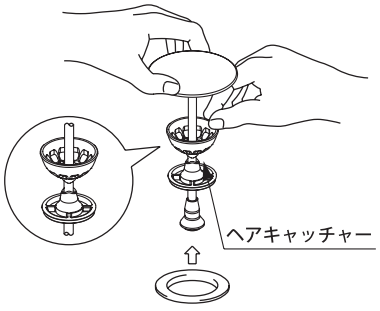


K1シリーズ

排水栓を上方に引き抜きます。ヘアキャッチャー部分に
ついているゴミを取り除き、排水栓を元通りはめ込みます。

ワンポイント

排水栓が作動しない場合は、フタを指でつまむか、マイナスドライバーを差し込んで排水栓を外し、よく水洗いしてから再度使用してください。また、ヘアキャッチャー部とシャフト部に砂等がかんだ場合は、ヘアキャッチャー部を上下に動かしながら水洗いして、砂等を取り除いてください。

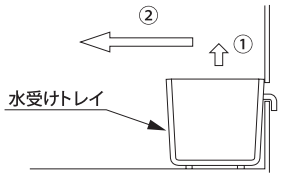


水受けトレイ・水受けタンク

D７・D８シリーズ

① キャビネット内の水受けトレイを点検し、水が落ちているようならトレイを取り外し、水をふきとります。

② 水をふきとった後は水受けトレイを元通りにセットします。



水受けトレイは①少し持ち上げ、
②手前に引くと外れます。
取付けは逆の手順です。

K1シリーズ

① 引出しを取り外してください。

⚠注意

水受けタンクのおそうじをする際は必ず引出しを取り外してください。
※引出しが外れて破損したり、ケガをする恐れがあります。

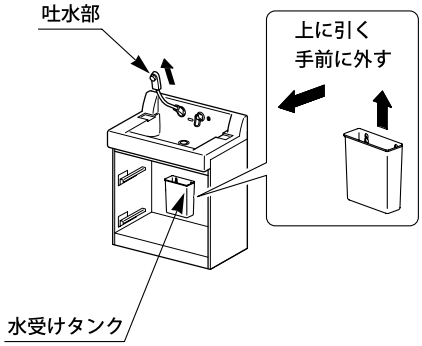
② 水栓金具の吐水部を引き出します。

③ 水受けタンクを上にずらし、手前に引いて取り外します。

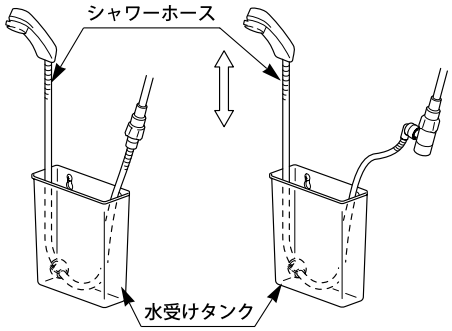
④ 水受けタンクの中やその周辺を点検し、水が落ちているようなら、乾いた柔らかい布でふきとります。

⑤ 水をふきとった後は、取外し方と逆の手順でタンクを元通りに取り付けます。

⑥ 水栓金具の吐水口を元の位置に戻し、シャワーホースを水受けタンクの中に入れます。



〈シャワーホースの入れ方〉



〈一般地仕様〉　〈寒冷地仕様〉

7 ①で引出しを取り外した場合は、必ず、引出しを取り付けてください。

長くお使いいただくために

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

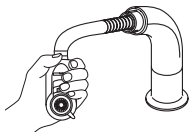
吐水口のお手入れ(D7・D8シリーズの場合)

切替ユニットのストレーナーにゴミが詰まると、吐出状態が乱れたり、吐出量が少なくなります。次の要領で掃除してください。

⚠ ストレーナーを掃除する際はストッパーの紛失を防ぐため、排水栓を閉じて行ってください。

①

ハンドシャワーを引き出し、裏向きにしてください。



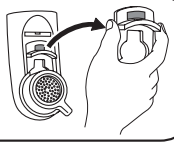
②

ストッパーの穴に指もしくはドライバーを入れスライドさせてください。

※切替ユニットが固くて外しにくい場合がありますが、切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。

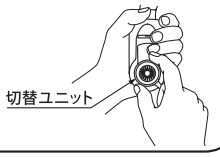
③

ストッパーを取り外します。ストッパーの紛失に注意してください。



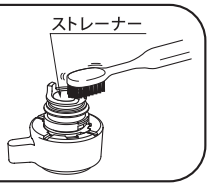
④

切替ユニットを引っ張り、取り外してください。



⑤

取り外した切替ユニットのストレーナーを歯ブラシ等で掃除してください。

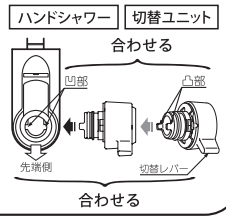


⑥

切替ユニットの向きに注意しながら取り付けてください。

※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込んでください。

※切替レバーが、ハンドシャワーの先端部になるようにしてください。

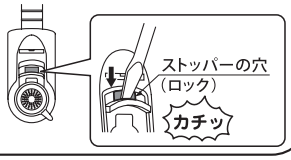


⑦

ストッパーを組み付けロックしてください。

※しっかりと奥までスライドさせてください。奥までスライドできないと、使用中に切替えユニットが外れて、ケガしたり、漏水する恐れがあります。

※ロックできないときは、⑥に戻り切替ユニットの向きを確認してください。



⑧

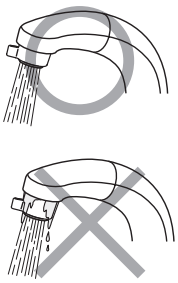
切替ユニットを引っ張り外れないことを確認してください。

⑨

切替ユニット取付後、正常に吐水する事を確認してください。

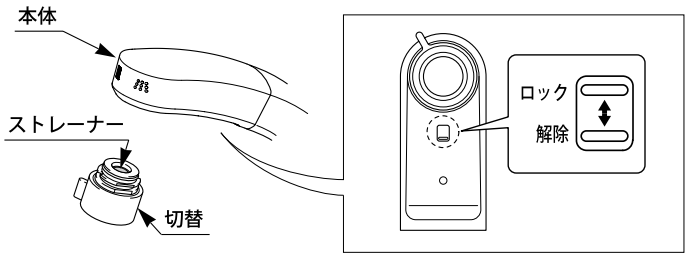
※異常のままご使用になられますと、使用中に切替ユニットが外れてケガをする恐れがあります。

※異常がある場合は⑥に戻り切替ユニットを取り付け直してください。

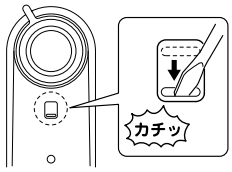


※その他の水栓は水栓の取扱説明書をご覧ください。

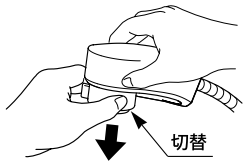
シングルレバー洗髪シャワー水栓の場合(K1シリーズ)



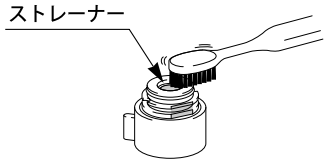
① 小型のマイナスドライバーで、図のようにスライドさせ、ロック解除してください。
※この時カバーの穴にドライバーがあたらないように注意してください。



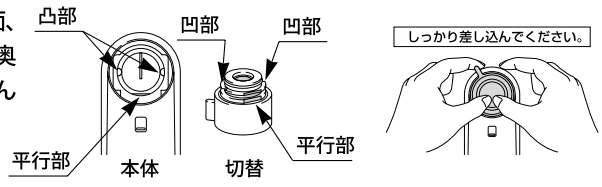
② 吐水口切替を引っ張り、取り外してください。



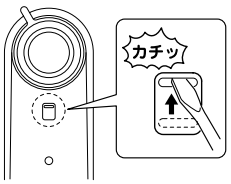
③ ストレーナーについたゴミ、水アカを歯ブラシ等で取り除きます。



④ 切替と本体の平面と平面、凸部と凹部を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。



⑤ ①の逆の要領でロックしてください。
※固くてスライドできない場合は④に戻り、再度しっかり奥まで差し込んでください。



水量を調節する

吐出量の調節は止水栓を操作して行ってください。

お願い

止水栓を閉めて湯水を止めるときは何回回したかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要になります。
※元の位置に戻しておかないと施工時と設定が変わり、湯温が変化したり、洗面器から水があふれる恐れがあります。

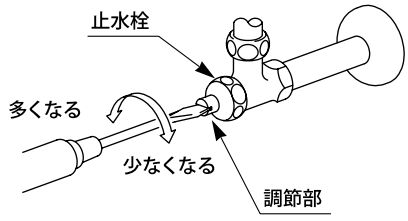
ワンポイント

ハンドル中央の位置で全開にしたとき、シャワー水栓は6.5リットル／分程度（市販の洗面器（3リットル）を一杯にするのに約30秒）その他の水栓の場合は8.0リットル／分程度（市販の洗面器（容量約3リットル）を一杯にするのに20秒強）の流量で 使用してください。

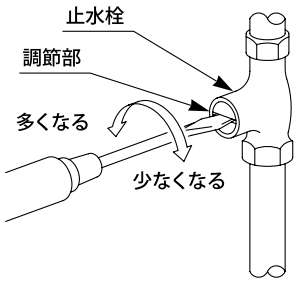
① 水栓のハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓（向かって左）の調節部をマイナスドライバーで回して適量に調節します。

② 水栓のハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの位置の吐出量と同じになるように水側止水栓（向かって右）の調節部をマイナスドライバーで回して調節します。

●壁給水の場合



●床給水の場合



止水栓の操作

水量を多くする	調節部を左に回す
水量を少なくする	調節部を右に回す
閉める	調節部を右にいっぱい回す

上記調節方法はドライバー式止水栓の例です。他にハンドル式もあります。

排水が遅いと感じたら

排水トラップのお手入れ

① 引出しを取り外してください。

② 排水トラップの掃除口の真下に封水を受ける容器を置きます。

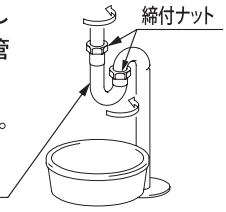
掃除口ありの場合

③ 掃除口を手で回して取り外し、ゴミを取り除きます。

④ 掃除口を元通り取り付けます。

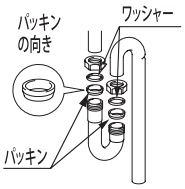
掃除口無しの場合

③ 締付ナットを回してトラップU字管を取り外し、ゴミを取り除きます。



※樹脂製排水トラップの場合は手で締付ナットをゆるめてください。

④ トラップU字管を元通りに取り付けます。
※パッキンを必ず元通りに取り付けてください。



※樹脂製排水トラップの場合は手でしっかりと締め付けてください。（工具で過剰に締め付けると破損する恐れがあります）

⑤ 水栓から水を流し、排水トラップから水が漏れていないことを確認します。

⑥

①で引出しを取り外した場合は、必ず、引出しを取り付けてください。

⚠注意

●ナット類はしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。
●上記以外の締付ナット等に触れたり、外したりしないでください。
●パッキン、ワッシャーにキズや変形が見られた場合、必ず交換してください。

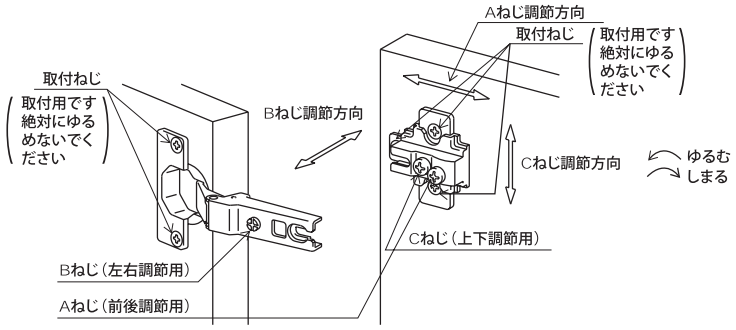
ワンポイント

排水トラップに水を流さないと、封水（下水からの臭いを遮断するため、管内にためておく水）が少なくなり、排水口から下水の臭いが漏れてくる恐れがあります。排水トラップのお手入れ終了後は各部を確実に取り付け、必ず水を流してください。

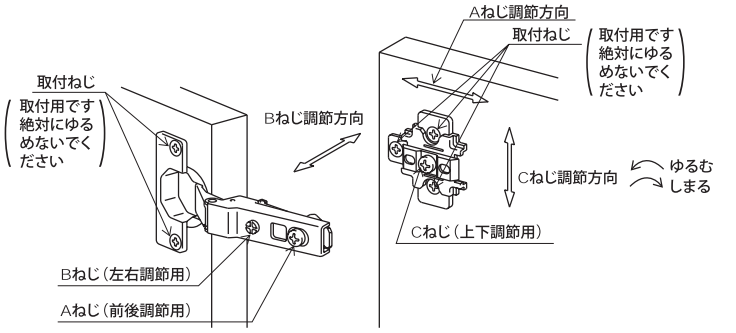
扉の開閉が滑らかでなくなったら

（1）扉の調節

ベースキャビネットの場合



アッパーキャビネットの場合



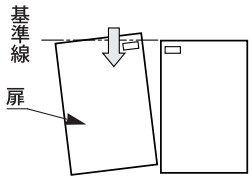
⚠注意

調節後は必ず、Aねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと、蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

各ねじの調節量
Aねじ…前方向2mm、後方向1mm
Bねじ…右へまわす→手前へ4mm、
　　左へまわす→後方へ1mm
Cねじ…上方向1.5mm、下方向1.5mm

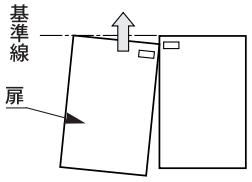
扉の先端が上がっているとき

1. 扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
2. 扉を閉めて確認します。
3. 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



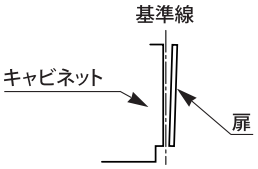
扉の先端が下がっているとき

1. 扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
2. 扉を閉めて確認します。
3. 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



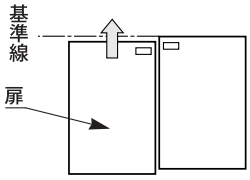
扉と側板のすき間が上下異なるとき

1. 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
2. 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



扉の位置が上下異なるとき

1. 扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
2. 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



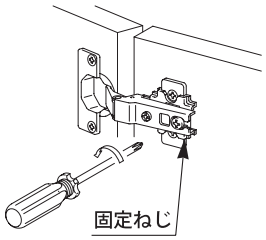
ワンポイント

- Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
- 2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。

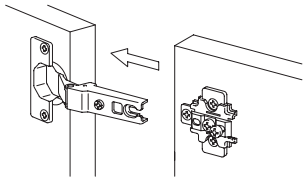
（2）扉の取外方法

ベースキャビネットの場合

① 固定ねじをドライバーでゆるめます。

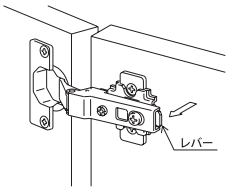


② 扉を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

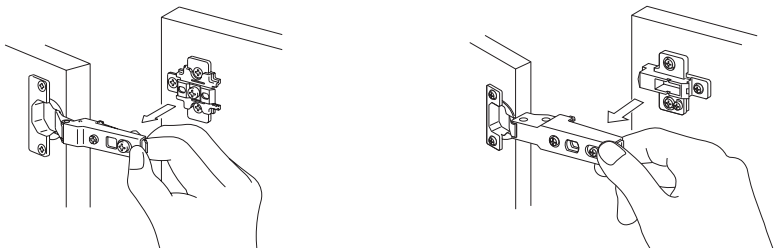


アッパーキャビネットの場合

① 蝶番のレバーを矢印の向きに引っ張ります。



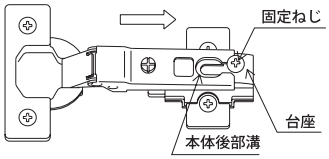
② 蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



（3）扉の取付方法

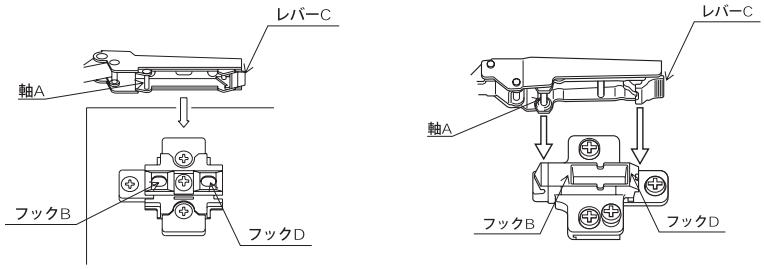
ベースキャビネットの場合

① 本体後部溝を台座固定ねじに差し込み固定ねじを締め付けます。

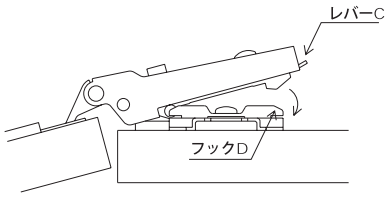


アッパーキャビネットの場合

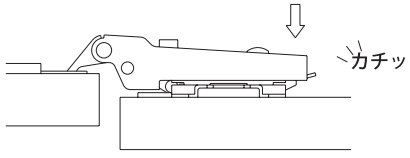
① 蝶番の軸Aをフック Bに引っ掛けます。



② 蝶番のレバーCをフックDに合わせます。



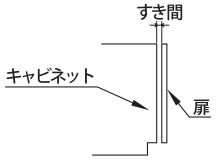
③ 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



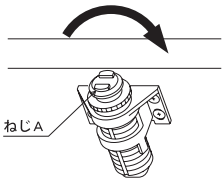
プッシュラッチの調節

アッパーキャビネット(K1シリーズ)の場合

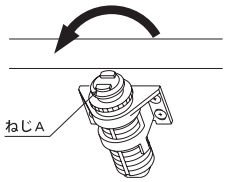
① 扉と本体のすき間を確認します。
（基準値：すき間2mm）



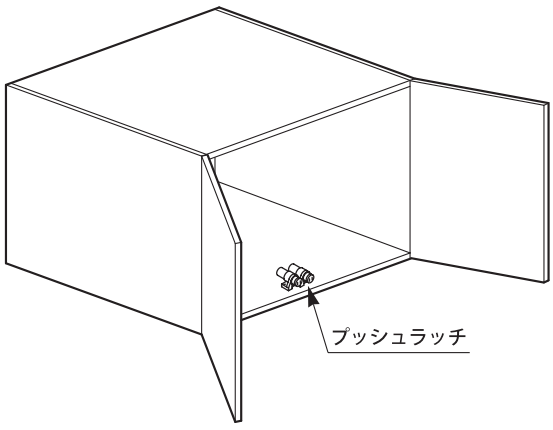
② すき間が大きい場合：
プッシュラッチのねじAを右に回します。



③ すき間が小さい場合：
プッシュラッチのねじAを左に回します。



④ 扉を開閉してプッシュラッチが正しく動作するか確認します。



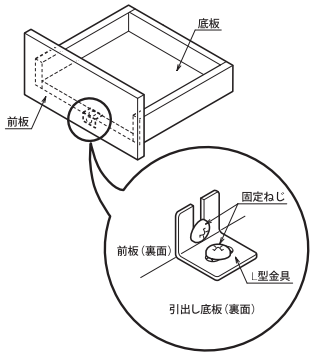
フルスライドタイプの引出しの調節方法

引出し前板の調節

●調節前の準備

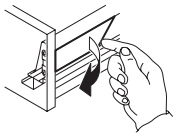
引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けてあります。引出し調節（前板の傾き調節以外）を行う際は、必ず固定ねじをゆるめて（金具が動く程度）から行ってください。

また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。



●引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外します。



①左右の調節

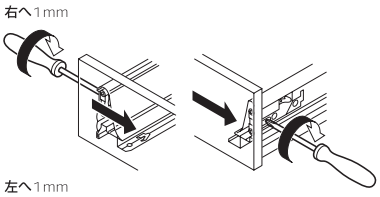
右図のように、左右調節ねじを回し調節します。

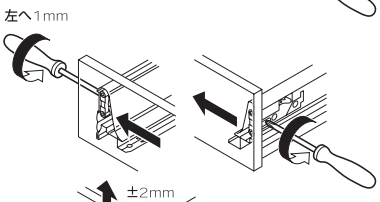
・右へ移動する場合：ねじを右へ回す。

・左へ移動する場合：ねじを左へ回す。

※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。

※調節範囲：左右方向へ各1mm（計2mm）程度。





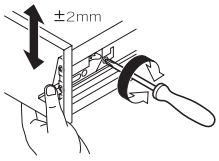
②上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回し調節します。

・上へ移動する場合：ねじを右へ回す。

・下へ移動する場合：ねじを左へ回す。

※調節範囲：上下方向に各2mm（計4mm）程度。



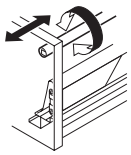
③前板の傾き調節

右図のように、サイドギャラリー（パイプ）を回し、前板の傾きを調節します。

・前板を手前へ倒す場合：左へ（前板正面から見て）回す。

・前板を後方へ倒す場合：右へ（前板正面から見て）回す。

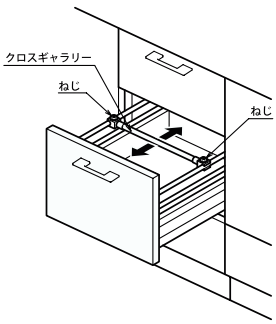
※サイドギャラリー後方の樹脂部品（グレー色）のねじ部にすき間が残りますが、このすき間は調節しろです。



クロスギャラリーの調節

クロスギャラリーを前後方向に移動させる場合は、プラスドライバーを使用し、クロスギャラリー両端（樹脂部）のねじをゆるめます。
移動完了後に、ねじを締め付け直します。

ねじを締め付ける際は、締め付けすぎないようにしてください。
樹脂製品のため、破損する可能性があります。

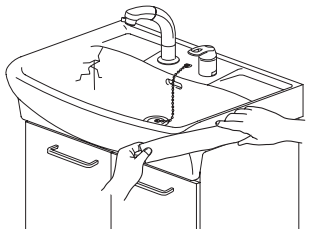


陶器製洗面器がヒビ割れしたら

重いものや、硬いものが洗面器に落ちるとキズやひび割れの原因になりますので、
ご注意ください。万が一ヒビが入ったら応急処置後、早めに修理を依頼してください。

ひび割れの応急処置(D7・D8シリーズ)

① ヒビの部分にガムテープを貼り付けて補強します。



② すぐに洗面器交換を依頼します。
P. 39「アフターサービスについて」をご覧ください。

⚠ 注意

洗面器にヒビが入ったり、割れたりした時は、破損部に触れるとケガをすることがあります。早めに交換してください。
※修理のご依頼はP.40を参照してください。

冬期凍結の恐れがある場合

水栓の水抜き（寒冷地仕様）

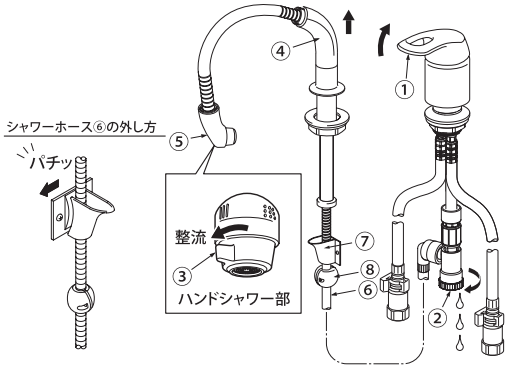
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

ホース収納式シングルレバー洗髪シャワー水栓の場合(D７・D８シリーズ)

① 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

② レバーハンドル①を上げます。

③ 水抜栓②の下に洗面器等をあてがった後、水抜栓②を矢印の方向に回して開ける。
※そのまま30秒間放置する。
※洗面器等で排出される水を受けてください。



④ レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側までの間を往復します。

⑤ 吐水口レバー③を整流に切り替える。

⑥ ホースガイド⑦からホース⑥を外し、ガイド管④を引き上げ、さらにハンドシャワー⑤を引き出し、振って水をよくきります。

⑦ ホース⑥を水抜エルボ②より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜きます。

⑧ 水栓の水が抜けたらレバーハンドル①を閉めます。

⑨ 水抜き完了後は水抜エルボ②を閉め、ホースガイド⑦にホース⑥を取り付けます。
※ホーススストッパー⑧がホースガイド③の下にくるようにホース⑥を取り付けてください。

冬期凍結の恐れがある場合

シングルレバーシャワー水栓の場合(K1シリーズ)

① 引出しを取り外してください。

⚠ 注意

キャビネットの場合、必ず引出しを取り外してください。
※引出しが外れて破損したり、 ケガをする恐れがあります。

② 建築側の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。

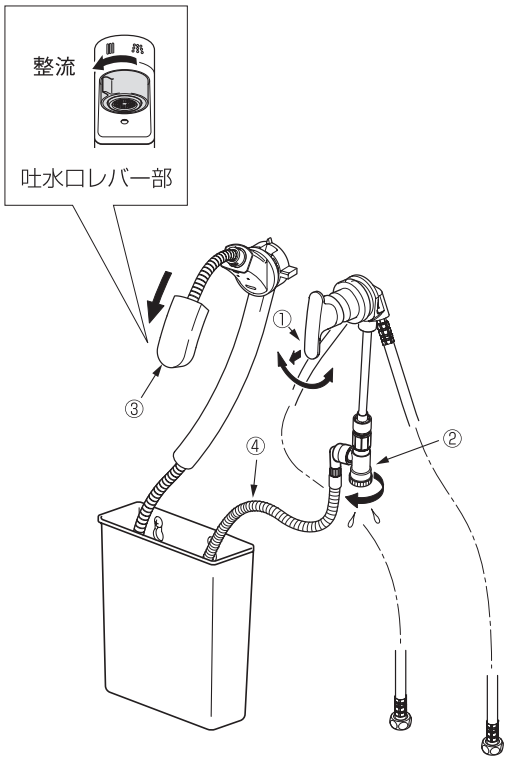
③ レバーハンドル①を上げます。

④ 水抜栓②を開けます。
※水抜栓から水が出ますので、容器で受けてください。

⑤ レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回します。

⑥ 吐水部のレバーを整流吐水に切り替えます。

⑦ 吐水部③を振って、水をよくきります。



8 ホース④を水抜栓②より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜きます。

9 水栓の水が抜けたらレバーハンドル①を閉めます。

10 水抜き完了後は水抜栓②を閉めます。

11 シャワーホース④を水受けタンクの中に入れます。
※詳細は「水受けタンク」（18ページ）をご覧ください。

12 ①で引出しを取り外した場合は、必ず、引出しを取り付けてください。

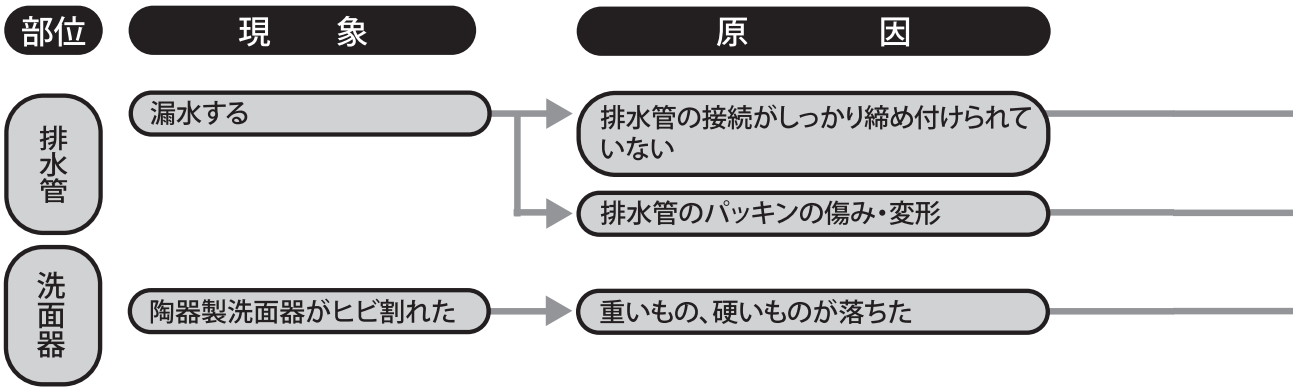
故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

部位	現象	原因
キャビネット	扉がガタついている	蝶番がゆるんでいる
	扉の先端が上がっている	
	扉の先端が下がっている	
	扉と側板のすき間が上下で異なる	
	扉の位置が上下異なる	
	アッパーキャビネットの扉の開閉が滑らかでない	プッシュラッチの調節が十分でない
	フルスライドタイプの引出しの開閉が滑らかでない	引出し前板がずれている
水栓	吐出量が少ない（水の勢いが弱い）	吐水口が詰まっている
		ストレーナーが目詰まりしている
		止水栓が十分開いていない
		ガス給湯器の能力切替が低めに設定されている（給湯の能力が不足している）
		浴室などで湯を使っている
	吐出量が多い（水の勢いが強い、水はねが多い）	止水栓が開きすぎている
	希望の温度が得られない（または、温度が変動する）	吐出量が少ない
		季節の環境、外気の変化
	水が止まらない	パッキンの寿命や痛み
	シャワー吐水が乱れる	吐水口が詰まっている
	水を止めた後に、少しの間水が垂れる	構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される
排水口	水がたまらない	排水栓の変形、パッキンの痛み
	洗面器から水があふれる	止水栓が開きすぎている
	排水しない、あるいは排水がスムーズでない	排水口がつまっている
		排水トラップがつまっている
	排水栓が開閉しない	ゴミや砂がかんでいる

処　置	参照頁
蝶番調節用ねじを増締めします。増締めをした後、扉がずれていたら、調節します	25
扉のずれを調節します	26
プッシュラッチの調節をします	29
引出し前板のずれを調節します	30
吐水口のお手入れをします	20
ストレーナーのそうじをします	20
止水栓を左に回して開けます	22
ガス給湯器の能力を高く設定します（ガス給湯器の取扱説明書をご覧ください）	
他の場所で湯を使わないようにします	
止水栓を右に回して閉めます	22
「吐出量が少ない」の項を見ます	20
アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	39
吐水口のお手入れをします	20
故障ではありません	12
アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	39
止水栓を右に回して閉めます	22
排水口をそうじします	17
排水トラップをそうじします	23
排水栓やヘアキャッチャーをそうじします	17

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。


部位
現　象
原　因
排水管
漏水する
排水管の接続がしっかり締め付けられていない
排水管のパッキンの傷み・変形
洗面器
陶器製洗面器がヒビ割れた
重いもの、硬いものが落ちた

処　置	参照頁
締付ナットをしっかり締めます	23
アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	39
応急処置として補強した後、修理を依頼してください	31

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（35ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株) INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●異常を感じたとき

上記の場合そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠警告

分解・修理・改造についての警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。

2.保証書をご覧ください。

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常等については保証の対象となりませんのでご注意ください。

- ●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- ●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- ●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- ●水栓の止水パッキン等の消耗品

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番←**42**ページの「品番を調べる」参照
●取付年月日（保証書に表示）
●故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←**35**ページの「故障かな？と思ったら」参照
●ご訪問希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、または(株)INAXメンテナンスに連絡してください。

●お求めの取扱店
●(株)INAXメンテナンス　365日受付＆修理
TEL 0120-1794-11
受付時間9：00～22：00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

4.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合があります。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

洗面化粧台

＜D7・D8シリーズ＞

間口(mm)		600		750	
品番	扉タイプ	(G)D7N-600(N)	(G)D7N-605S(N)	(G)D7N-755S(N)	D8N-755S(N)
	引出しタイプ			(G)D7H-755S(N)	D8H-755S(N)
ｻｲｽﾞ(mm) (幅X奥行X高さ)		600X520X850		750X520X850	750X550X850
水栓		ツーハンドル混合水栓 LF-4275A-MB4 (寒冷地仕様) LF-4275A-MB4-U	ホース収納式シングルレバー洗髪シャワー水栓 SF-500S-MB (寒冷地仕様) SF-500SN-MB		
排水器具		ゴム栓式排水栓(ヘアキャッチャー付) LF-FT4G			プッシュワンウェイ LF-GX5G-B
洗面器(カラー)		陶器製 11L L-9006ET/ BW1:ホワイト LR8:ピンク BB7:ブルーグレー	陶器製 11L L-9006FVT/ BW1:ホワイト LR8:ピンク BB7:ブルーグレー	陶器製 15L L-9007FVT/ BW1:ホワイト LR8:ピンク BB7:ブルーグレー	陶器製 17L L-2017FVT/ BW1:ホワイト
本体		木組構造(パーティクルボード、MDF、合板)			
扉カラー		VP1:ホワイト　VS1:シルクウッド			BM2:グリーン BA2:レッド BO2:ブルー UW2:ホワイト
					Z22:ホワイト(木目調) Z12:ブラウン(木目調)
付属品		排水トラップ	排水トラップ 鎖付ゴム栓 ホースガイド 水受トレイ	排水トラップ 鎖付ゴム栓 ホースガイド 水受トレイ	排水トラップ ホースガイド 水受トレイ

＜K1シリーズ＞

間口(mm)		600	750
品番	扉タイプ	K1N-605S(N)	K1N-755S(N)
	引出しタイプ	-	K1H-755S(N)
	フルスライドタイプ	-	K1FH-755S(N)
ｻｲｽﾞ(mm) (幅X奥行X高さ)		600X540X950	750X540X950
水栓		ホース収納式シングルレバー洗髪シャワー水栓 SF-71S-MB (寒冷地仕様) SF-71SN-MB	
排水器具		ポップアップ式排水栓(ヘアキャッチャー付) LF-PR5G-C	
洗面器(カラー)		人造大理石製(不飽和ポリエステル)18L PH-01:ブレーンネオホワイト	人造大理石製(不飽和ポリエステル)22L PH-01:ブレーンネオホワイト
本体		木組構造(パーティクルボード、MDF、合板)	
扉カラー		鏡面調 BO2:ブルー UW2:ホワイト	木目調 YL2、SS2:淡色木目 YD2、SR2:濃色木目
付属品		排水トラップ・水受タンク	

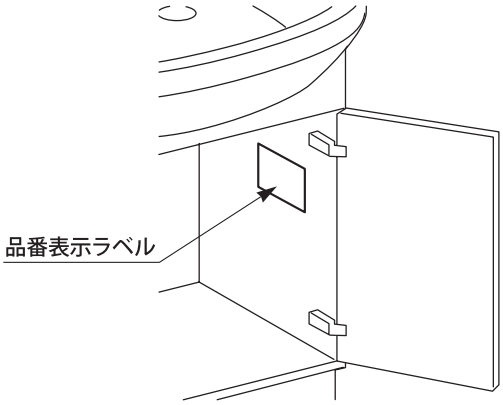
品名		アッパーキャビネット	
品番	K1シリーズ	K1U-605C	K1U-755C
ｻｲｽﾞ(mm)(幅X奥行X高さ)		600X477X400	750X477X400
付属品		-	

※品番のN付きは寒冷地仕様

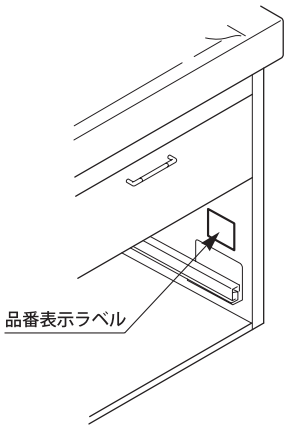
品番を調べる

本体に貼ってあるラベルを見る

洗面化粧台	開き扉を開けたキャビネット本体内部の右上に貼ってる品番表示ラベルで品番を確認してください。
洗面化粧台（フルスライド）	右側の引出し（下段）を引出し、キャビネット本体内部の右中央に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。
その他のキャビネット	キャビネット本体内部の右上に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。



洗面化粧台
（扉・引出しタイプ）



洗面化粧台
（フルスライドタイプ）

例）洗面化粧台　品番表示ラベル

品番
D7N-755S/VP1W

製造番号(MB)
A0123-012345678

修理のご依頼は、
お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス
0120-1794-11
http://www.i-mate.co.jp
株式会社　INAX

廃棄について

洗面化粧台、その他のキャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番：Ｄ７・Ｄ８シリーズ　Ｋ１シリーズ

保証期間	取付日
取付日より　**2ヶ年**	年　月　日

お客さま	おなまえ	名
	おところ	
	おでんわ （　　）	（　　）　－

無効

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは（株）INAXメンテナンスにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2) 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
(10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
(13) 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　6ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ
TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30
受付時間：平日　9:00～19:00
土日・祝日　10:00～18:00
（夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はINAXメンテナンスへ
TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56
受付時間：9:00～22:00（365日受付&修理）

株式会社INAX
〒479-8585　愛知県常滑市鯉江本町５－１
ホームページアドレス　http://www. inax. co. jp/

株式会社INAX

●ショールームのご案内

札幌―011-271-1710	青森―017-774-2345	盛岡―019-659-1714	仙台―022-265-1710
秋田―018-826-1791	山形―023-647-1797	郡山―024-922-7503	水戸―029-304-1710
宇都宮-028-634-1794	高崎―027-364-1794	さいたま-048-668-1794	川越―049-238-7560
千葉―043-331-1717	柏――04-7134-1794	銀座―03-5250-6560	新宿―03-6741-1794
足立―03-6741-1754	立川―042-538-1934	横浜―045-662-1401	藤沢―0466-89-1794
新潟―025-280-9701	長岡―0258-28-1724	富山―076-421-1734	金沢―076-262-1701
福井―0776-57-1785	甲府―055-237-1763	長野―026-252-6200	松本―0263-85-2500
岐阜―058-276-1711	静岡―054-238-1773	浜松―053-411-1794	豊橋―0532-69-1720
名古屋-052-201-1715	岡崎―0564-58-1794	津――059-226-1715	滋賀―077-565-1794
京都―075-231-1716	大阪―06-6733-1794	奈良―0743-57-1719	箕面―072-725-1741
神戸―078-361-6680	姫路―079-225-1760	岡山―086-242-1794	広島―082-850-3919
福山―084-920-1794	山口―083-920-1710	徳島―088-664-5503	高松―087-815-3388
松山―089-931-5730	高知―088-878-1790	福岡―092-471-1700	長崎―0957-27-2710
熊本―096-334-1894	大分―097-568-3417	宮崎―0985-23-1794	鹿児島-099-263-1882

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

(株) INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00

FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～19:00

土日・祝日10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの取扱店または

(株) INAXメンテナンス　365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11　受付時間　9:00～22:00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

INAXインターネット・ホームページ・アドレス　http://www.inax.co.jp/

GMB-0341(10070)